

循環注水冷却スケジュール

分野名	活り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		6月			7月			8月			9月			10月			備考
			22	29	6	13	20	27	3	10	下	上	中	下	日	月				
原子炉関連	循環注水冷却	(実績) ・【共通】循環注水冷却中(継続) ・【1, 2号】CST炉注ポンプ(B)号機電源停止(6/3) ・【1号】タービン建屋内炉注ポンプ(A)。(B)号機電源停止(6/5~9)	【1, 2, 3号】循環注水冷却(滞留水の再利用)															原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要の条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施	略語の意味 CS: 炉心スプレイ系 FDW: 給水系 CST: 復水貯蔵タンク RPV: 原子炉圧力容器 PCV: 原子炉格納容器 TIP: 移動式炉心内計測装置 JPSSL: ジェットポンプ計装配管	
	循環注水冷却設備の信頼性向上対策	(実績) ・【共通】CST炉注水ラインの信頼性向上対策 - 3号CSTを水源として1~3号CST炉注水ラインを運用中(継続)	3号CSTを水源として1~3号機の運用中																	
	循環ループ縮小	(実績) ・循環ループ縮小工事に関わる設備の検討・設計・機器手配 ・準備工事	検討・設計・機器手配 準備工事															設置工事	・H26年度中に運用開始予定	
	1号機緊急用原子炉注水点の設置	(実績) ・機器手配	機器手配																・H26年度中に現地設置	
	2号機RPV底部温度計修理	(実績) ・【2号】RPV底部温度計の交換 - 温度検出器引抜(モックアップ試験の検討・実施) (予定) ・【2号】RPV底部温度計の交換 - 温度検出器引抜(モックアップ試験の検討・実施)	温度検出器引き抜き不可のため、引き抜き方法検討(モックアップ試験他) 発錆・固着モックアップ試験 錆除去・加振モックアップ試験(組み合わせ試験) 強制引抜モックアップ試験(組み合わせ試験)															進捗反映	温度計引き抜きを試みたが、引き抜き不可能であったことから、引き抜き工法の再検討中。現在、モックアップ試験について検討・実施中。 ・固着試験にて十分な固着力が得られていないことから、発錆・固着模擬を継続して実施中。モックアップ進捗を反映し、工程見直し。(完了時期: 7月末~8月末)	
	海水腐食及び塩分除去対策	(実績) ・CST窒素注入による注水溶存酸素低減(継続) ・ヒドラジン注入開始(H25.8/29~)	CST窒素注入による注水溶存酸素低減 ヒドラジン注入開始																	
原子炉格納容器関連	窒素充填	(実績) ・【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入 - 連続窒素封入へ移行(H25.9/9~)(継続) ・【1号】JPSSLからのRPV窒素封入仮設ライン設置(6/11~6/24) (予定) ・【1号】ジェットポンプ計装ラックからの窒素封入試験(7/28~8/25) ・【2, 3号】窒素供給ホース引き換え(7/28~10月)	【1, 2, 3号】原子炉格納容器 窒素封入中 【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 窒素封入中 【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入 【1号】JPSSLからのRPV窒素封入仮設ライン設置 現場準備・設置															追加	【1号】ジェットポンプ計装ラックからの窒素封入試験 【2, 3号】窒素供給ホース引き換え	●1号ジェットポンプ計装ラックからの窒素封入試験 ・JPSSLからのRPV窒素封入仮設ラインを用いて、JPSSLの健全性確認を実施 ●2, 3号窒素供給ホース引き換え ・2号機燃料取出のためのトランス撤去工事に干渉するため、窒素供給ホースを別ルートに敷設し直す。

循環注水冷却スケジュール

区分	活動	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		6月		7月					8月			9月			10月	備考	
			22	29	6	13	20	27	3	10	下	上	中	下	日	月				
原子炉格納容器関連		PCVガス管理	(実績) ・【共通】PCVガス管理システム運転中(継続) ・【1, 2号】PCVガス管理システム(B)電源停止(6/3)	現場作業	<p>【1, 2, 3号】継続運転中</p> <p>1号PCVガス管理システム計装品点検</p> <p>2号PCVガス管理システム計装品点検</p> <p>3号PCVガス管理システム計装品点検</p> <p>追加</p>															1~3号 PCVガス管理システム計装品点検 ※サンプリングシステムは作業当日停止・起動 ・1号サンプリングシステム(A系)停止 7/16~7/18, 7/22 ・1号サンプリングシステム(B系)停止 7/24, 7/25, 7/28, 7/29 ・2号サンプリングシステム(A系)停止 7/8~7/11 ・2号サンプリングシステム(B系)停止 7/14, 7/15, 7/22 ・3号サンプリングシステム(A系)停止 7/23~7/25 ・3号サンプリングシステム(B系)停止 7/28~7/30 ※サンプリングシステム:ダスト, 希ガス, 水素, 酸素モニタ
		PCV内部調査	(実績) ・【3号】PCV内部調査・常設監視計器設置 - PCV内部調査の実施方針検討(継続)	検討・設計・現場作業	<p>【3号】PCV内部調査・常設監視計器設置 実施方針検討</p> <p>調査装置設計・製作</p>															・現場調査後、仕様確定 現場詳細調査については、原子炉建屋1階 除染作業の進捗状況に合わせて実施時期を検討(10月頃)
使用済燃料プール関連		使用済燃料プール循環冷却	(実績) ・【共通】循環冷却中(継続) ・【3号】 - 凍土壁設置作業に伴う電源停止(系統全停)(6/24日完了) (予定) ・【3号】 - 燃料プール内ガレキ撤去作業(系統全停)(4/23~10月) ※作業期間中、定期的に冷却システムを運転 ※クレーン点検に伴い系統全停する作業を一時中断(6月~7月) ・【4号】 - 一次系配管交換作業(系統全停:8/25~27, 9/2~4)	現場作業	<p>【1, 2, 3, 4号】循環冷却中</p> <p>【3号】凍土壁設置作業に伴う電源停止(系統全停)</p> <p>実績反映</p> <p>【3号】燃料プール内ガレキ撤去作業(系統全停)</p> <p>【4号】一次系配管交換作業(系統全停)</p> <p>追加</p>															・作業期間中においては、定期的に冷却システムを運転しプール温度の低下をはかる。ガレキ撤去作業の進捗ならびに使用済燃料プール温度により系統全停期間は適宜見直す。
		使用済燃料プールへの注水冷却		現場作業	<p>【1, 2, 3, 4号】蒸発量に応じて、内部注水を実施</p> <p>【1, 3, 4号】コンクリートポンプ車等の現場配備</p>															
		海水腐食及び塩分除去対策(使用済燃料プール薬注&塩分除去)	(実績) ・【共通】プール水質管理中(継続)	検討・設計・現場作業	<p>【1, 2, 3, 4号】ヒドラジン等注入による防食</p> <p>【1, 2, 3, 4号】プール水質管理</p>															